

事業箇所評価基準表

No. 1	県事業
事業名	経営体育成基盤整備事業
担当部課室	農林水産部 農村振興課 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト	
			1点	2点	3点	4点	5点		
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5	
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5	
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5	
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	農家への支援	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	耕地利用の推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10	
	10a当たりの事業費	5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5	
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5	
緊急性	農業経営の緊急強化	高齢化率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
		耕作放棄地率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15	
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5	
	農地集積推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
合 計							100		

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 2	県事業
事業名	県営かんがい排水事業
担当部課室	農林水産部 農村振興課 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	耕地利用の推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	施設の公共性	3段階	低い		普通		高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	農業経営の緊急強化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	既存施設の老朽化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 3	県事業
事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	耕地利用の推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	施設の公共性	3段階	低い		普通		高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	農業経営の緊急強化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	既存施設の老朽化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 4	県事業
事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 (旧基幹水利施設補修事業)
担当部課室	農林水産部 農村振興課 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	施設の保全対策の必要性	3段階	低い		普通		高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	施設の公共性	3段階	低い		普通		高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
緊急性	過去の応急対策の実施状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	既存施設の老朽化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	15
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 5	県事業
事業名	海岸堤防事業
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	10a（防護面積）当たりの事業費	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
緊急性	近年の被害の発生状況	3段階	低い		普通		高い	10
	既存施設の老朽化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
熟度	地域の合意形成	2段階	低い				高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	受益者の熱意	3段階	低い		普通		高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 6	県事業
事業名	湛水防除事業
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	被害防止が見込まれる農地面積	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	10a当たりの事業費	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	近年の湛水被害の発生状況	3段階	低い		普通		高い	5
	既存施設の老朽化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 7	県事業
事業名	県営ため池等整備事業
担当部課室	農林水産部 農村振興課 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	被害防止が見込まれる農地面積	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	被害防止が見込まれる施設数	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	10aあたりの事業費	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	4
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	3
緊急性	過去の応急対策の実施状況	3段階	低い		普通		高い	5
	既存施設の老朽化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	用地取得の状況	3段階	低い		普通		高い	3
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 8	県事業
事業名	広域営農団地農道整備事業
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	農業交通量	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	都市と農村の交流	3段階	低い		普通		高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	物流の効率化	5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	農業経営の緊急強化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 9	県事業
事業名	一般農道整備事業
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	農業交通量	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	都市と農村の交流	3段階	低い		普通		高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	物流の効率化	5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	農業経営の緊急強化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 10	県事業
事業名	農免農道整備事業
担当部課室	農林水産部 農村振興課 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	農業交通量	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	都市と農村の交流	3段階	低い		普通		高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	物流の効率化	5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	農業経営の緊急強化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 11	県事業
事業名	地域用水環境整備事業
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト	
			1点	2点	3点	4点	5点		
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5	
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5	
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5	
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10	
	施設の公共性	地域振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	3
		利用期間	3段階	低い		普通		高い	3
文化・伝統		3段階	低い		普通		高い	3	
効率性	農業水利施設の多面的機能の発揮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10	
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5	
緊急性	既存施設の老朽化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
熟度	地域の合意形成及び計画の熟度	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	20	
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	関係市町村の協力体制	3段階	低い		普通		高い	7	
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	4	
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
合 計							100		

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 12	県事業
事業名	中山間地域総合整備事業
担当部課室	農林水産部 農村振興課 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト	
			1点	2点	3点	4点	5点		
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5	
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5	
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5	
	都市との格差是正	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	定住化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	地域指定状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10	
	1戸当たりの投資額	5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5	
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5	
緊急性	農業経営の緊急強化	高齢化率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
		耕作放棄地率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15	
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5	
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5	
合 計							100		

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. 13	県事業
事業名	地すべり対策事業
担当部課室	農林水産部 農村振興課 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	地すべり兆候	2段階	低い				高い	5
有効性	被害防止が見込まれる農地面積	3段階	低い		普通		高い	5
	被害防止が見込まれる人家戸数	3段階	低い		普通		高い	10
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	10a当たりの事業費	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	近年の地すべり被害の発生状況	3段階	低い		普通		高い	20
熟度	事業実施環境の整備状況	2段階	低い				高い	10
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	用地の取得状況	3段階	低い		普通		高い	5
	各種協議の進捗状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	関係市町村の協力体制	3段階	低い		普通		高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.14	県事業
事業名	森林基幹道整備事業
担当部課室	農林水産部 林業振興課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			点	点	点	点	点	
必要性	計画的な事業推進							
	森林整備の促進							
	森林の塾度							
有効性	山村の振興							
	環境保全への配慮							
	地域格差の是正							
	防災上の効果							
効率性	効果の早期発現							
	事業区間の広域性							
塾度	受益者の意志							
	事業の進捗状況							
合 計								

※1 本事業は実施予定地区が1箇所であり、評点による優先度比較ができないため、評価区分、配点、ウェイトの設定はしていません。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.15	県事業
事業名	ふるさと林道緊急整備事業
担当部課室	農林水産部 林業振興課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	森林整備の促進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	森林の熟度	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
重要性	山村の振興（有効性）	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	20
	環境保全への配慮	3段階	低い		普通		高い	5
	地域格差の是正（有効性）	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	防災上の効果（有効性）	3段階	低い		普通		高い	10
効率性	利便性（幅員）	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	広域性	3段階	低い		普通		高い	10
熟度	受益者の意思	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	事業の進捗状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.16	県事業
事業名	予防治山事業
担当部課室	農林水産部 森林整備課

評価項目	評価指標	単位	評価区分	配点					ウェイト
				1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	進捗状況（全体計画の実績割合）	%	3段階	低い		普通		高い	10
	山地災害危険地区の指定	有無等	3段階	低い		普通		高い	10
有効性	保全対象人家戸数	戸数	3段階	低い		普通		高い	5
	公共施設	有無	2段階	低い				高い	5
	道路等	道路の種類	3段階	低い		普通		高い	5
	河川	級	3段階	低い		普通		高い	5
	危険度	山地災害危険調査結果	3段階	低い		普通		高い	10
効率性	費用対効果	数値	3段階	低い		普通		高い	10
	他事業等との連続調整	波及度合	3段階	低い		普通		高い	10
	コスト縮減の可能性	有無	3段階	低い		普通		高い	5
	代替案の可能性	有無	3段階	低い		普通		高い	5
緊急性	災害履歴	有無	3段階	低い		普通		高い	10
熟度	所有者の同意状況	有無	3段階	低い		普通		高い	5
	地元市町村の要請	有無	2段階	低い				高い	5
合 計									100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. 17	県事業
事業名	広域漁港整備事業(特定)
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価 区 分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	外郭施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	係留施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	漁業依存度	3段階	低い		普通		高い	10
	利用漁船数	3段階	低い		普通		高い	5
	属地水揚げ量	3段階	低い		普通		高い	5
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	5
	環境保全の配慮	2段階	低い				高い	5
	漁業若年齢者率	3段階	低い		普通		高い	10
	漁港の指定	4段階	低い		普通	やや高い	高い	5
効率性	一部施設の供用開始の有無	2段階	低い				高い	10
	複合事業の位置付け	2段階	低い				高い	5
	利用漁船1隻当たりの投資額	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	前計画からの残	3段階	低い		普通		高い	10
	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. 18	県事業
事業名	広域漁港整備事業(一般)
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価 区 分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	外郭施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	係留施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	漁業依存度	3段階	低い		普通		高い	10
	利用漁船数	3段階	低い		普通		高い	5
	属地水揚げ量	3段階	低い		普通		高い	5
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	5
	環境保全の配慮	2段階	低い				高い	5
	漁業若年齢者率	3段階	低い		普通		高い	10
	漁港の指定	4段階	低い		普通	やや高い	高い	5
効率性	一部施設の供用開始の有無	2段階	低い				高い	10
	複合事業の位置付け	2段階	低い				高い	5
	利用漁船1隻当たりの投資額	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	前計画からの残	3段階	低い		普通		高い	10
	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. 19	県事業
事業名	地域水産物供給基盤整備事業
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	外郭施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	係留施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	漁業依存度	3段階	低い		普通		高い	10
	利用漁船数	3段階	低い		普通		高い	5
	属地水揚げ量	3段階	低い		普通		高い	5
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	5
	環境保全の配慮	2段階	低い				高い	5
	漁業若年齢者率	3段階	低い		普通		高い	10
	漁港の指定	4段階	低い		普通	やや高い	高い	5
効率性	一部施設の供用開始の有無	2段階	低い				高い	10
	複合事業の位置付け	2段階	低い				高い	5
	利用漁船1隻当たりの投資額	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	前計画からの残	3段階	低い		普通		高い	10
	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. 20	県事業
事業名	海岸保全施設整備事業
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	防災計画の位置づけ	2段階	低い				高い	5
有効性	防護人口	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	防護面積	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	過去の被災歴	3段階	低い		普通		高い	10
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	5
	環境保全の配慮	2段階	低い				高い	5
	公共施設の有無	2段階	低い				高い	10
効率性	レクリエーション利用の可能性	2段階	低い				高い	5
	複合事業の位置づけ	2段階	低い				高い	5
	翌年度完成港	2段階	低い				高い	10
緊急性	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
	既施設の経過年数	3段階	低い		普通		高い	10
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.21	県事業
事業名	広域漁場整備事業
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	進捗状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	整備状況の地域比較	3段階	低い		普通		高い	10
有効性	漁獲の増大	2段階	低い				高い	10
	漁業者の利用度 (県民の利用度が可能か)	2段階	低い				高い	10
緊急性	前計画からの残	2段階	低い				高い	10
	事業の長期化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
効率性	費用対効果	3段階	低い		普通		高い	15
	受益者数(漁業者数)	3段階	低い		普通		高い	10
熟度	地元の同意状況	3段階	低い		普通		高い	10
	市町計画での位置づけ	2段階	低い				高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. 22	県事業
事業名	漁港環境整備統合補助事業
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	環境保全の配慮	3段階	低い		普通		高い	10
	広域利用性	3段階	低い		普通		高い	10
	計画面積	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
有効性	漁業依存度	3段階	低い		普通		高い	10
	想定利用者数	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	10
効率性	一部施設の供用開始の有無	2段階	低い				高い	5
	複合事業の位置づけ	2段階	低い				高い	5
	計画面積1㎡当たりの投資額	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
緊急性	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
	既施設の経過年数	3段階	低い		普通		高い	5
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.23	県事業
事業名	道路建設事業(国道)
担当部課室	土木部 道路課

評価軸	評価項目		評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	ネットワーク形成面 から見た道路サービ ス	主要拠点間を連絡する広域幹線道 路網の整備	都市拠点 ・東西軸を形成するネットワークや広域 圏中心都市相互を連絡する路線となっ ているか ・広域圏中心都市と圏域内市町村を連 絡する路線となっているか ・圏域内市町村および隣接市町村間を 連絡する路線となっているか	5.53
			交通拠点 ・仙台空港、仙台塩釜港と高規格幹線 道路を連絡する路線となっているか ・新幹線駅と直轄道路を連絡する路線 となっているか ・市町村と高速ICや鉄道駅を連絡する 路線となっているか	7.98
			開発拠点(産業拠点) ・開発拠点(広域的な産業拠点、地域 的な産業拠点)および観光拠点と広域 的なネットワークを形成する直轄国道 を連絡する路線となっているか	6.74
II. 安全の確保 (必要性)	安全安心面から見た 道路サービス	宮城県沖地震、豪雨、豪雪時など、 自然災害が生じた際の必要最低限 の生活の確保	・緊急輸送道路ネットワーク計画に基 づき、重要度に応じての路線の位置付 けとなっているか	9.43
			・緊急輸送道路ネットワーク計画に位 置付けられている路線の中で、問題の ある区間の整備	16.20
III. 環境の保全 (有効性)				-
IV. 地域経済への貢献 (有効性)				-
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	生活環境面から見た 道路サービス	日常生活支援面から生活拠点(医 療施設、福祉施設)、鉄道駅アクセ ス道路の整備	・各市町村と鉄道駅を連絡する路線と なっているか ・医療拠点や福祉施設と広域的なネッ トワークを形成する直轄国道を連絡す る路線となっているか	8.30
			改良率、混雑度、主要渋滞ポイント、 通学路指定、歩道必要区間、バス路 線指定、バスすれ違い困難区間	16.62
VI. 事業の効率性 (効率性)	効果的な道路整備		費用対効果(B/C)	13.40
	関連事業との整合性		高規格幹線道路・空港関連事業など の他の事業との整合性	7.13
	現行事業の進捗度		事業進捗度	8.67
合 計				100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点到評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる
評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.24	県事業
事業名	道路建設事業(県道)
担当部課室	土木部 道路課

評価軸	評価項目		評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	ネットワーク形成面 から見た道路サービス	主要拠点間を連絡する広域幹線道路 路網の整備	都市拠点 ・東西軸を形成するネットワークや広域 圏中心都市相互を連絡する路線となっ ているか ・広域圏中心都市と圏域内市町村を連 絡する路線となっているか ・圏域内市町村および隣接市町村間を 連絡する路線となっているか	5.53
			交通拠点 ・仙台空港、仙台塩釜港と高規格幹線 道路を連絡する路線となっているか ・新幹線駅と直轄道路を連絡する路線 となっているか ・市町村と高速ICや鉄道駅を連絡する 路線となっているか	7.98
			開発拠点(産業拠点) ・開発拠点(広域的な産業拠点、地域 的な産業拠点)および観光拠点と広域 的なネットワークを形成する直轄国道 を連絡する路線となっているか	6.74
II. 安全の確保 (必要性)	安全安心面から見た 道路サービス	宮城県沖地震、豪雨、豪雪時など、 自然災害が生じた際の必要最低限 の生活の確保	・緊急輸送道路ネットワーク計画に基 づき、重要度に応じての路線の位置付 けとなっているか	9.43
			・緊急輸送道路ネットワーク計画に位 置付けられている路線の中で、問題の ある区間の整備	16.20
III. 環境の保全 (有効性)				-
IV. 地域経済への貢献 (有効性)				-
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	生活環境面から見た 道路サービス	日常生活支援面から生活拠点(医 療施設、福祉施設)、鉄道駅アクセ ス道路の整備	・各市町村と鉄道駅を連絡する路線と なっているか ・医療拠点や福祉施設と広域的なネッ トワークを形成する直轄国道を連絡す る路線となっているか	8.30
			改良率、混雑度、主要渋滞ポイント、 通学路指定、歩道必要区間、バス路 線指定、バスすれ違い困難区間	16.62
VI. 事業の効率性 (効率性)	効果的な道路整備		費用対効果(B/C)	13.40
	関連事業との整合性		高規格幹線道路・空港関連事業など の他の事業との整合性	7.13
	現行事業の進捗度		事業進捗度	8.67
合 計				100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる
評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.25	県事業
事業名	道路建設事業 (インターチェンジ整備)
担当部課室	土木部 道路課

評価軸	評価項目		評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	ネットワーク形成面 から見た道路サービス	主要拠点間を連絡する広域幹線道路 路網の整備	都市拠点 ・東西軸を形成するネットワークや広域 圏中心都市相互を連絡する路線となっ ているか ・広域圏中心都市と圏域内市町村を連 絡する路線となっているか ・圏域内市町村および隣接市町村間を 連絡する路線となっているか	
			交通拠点 ・仙台空港、仙台塩釜港と高規格幹線 道路を連絡する路線となっているか ・新幹線駅と直轄道路を連絡する路線 となっているか ・市町村と高速ICや鉄道駅を連絡する 路線となっているか	
			開発拠点(産業拠点) ・開発拠点(広域的な産業拠点、地域 的な産業拠点)および観光拠点と広域 的なネットワークを形成する直轄国道 を連絡する路線となっているか	
II. 安全の確保 (必要性)	安全安心面から見た 道路サービス	宮城県沖地震、豪雨、豪雪時など、 自然災害が生じた際の必要最低限 の生活の確保	・緊急輸送道路ネットワーク計画に基 づき、重要度に応じての路線の位置付 けとなっているか ・緊急輸送道路ネットワーク計画に位 置付けられている路線の中で、問題の ある区間の整備	
III. 環境の保全 (有効性)				
IV. 地域経済への貢献 (有効性)				
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	生活環境面から見た 道路サービス	日常生活支援面から生活拠点(医 療施設、福祉施設)、鉄道駅アクセ ス道路の整備	・各市町村と鉄道駅を連絡する路線と なっているか ・医療拠点や福祉施設と広域的なネッ トワークを形成する直轄国道を連絡す る路線となっているか	
			改良率、混雑度、主要渋滞ポイント、 通学路指定、歩道必要区間、バス路 線指定、バスすれ違い困難区間	
VI. 事業の効率性 (効率性)	効果的な道路整備		費用対効果(B/C)	
	関連事業との整合性		高規格幹線道路・空港関連事業など の他の事業との整合性	
	現行事業の進捗度		事業進捗度	
合 計				

※1 本事業は実施予定箇所が1箇所のため、ウエイトの設定はしていません。
 ※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.26	県事業
事業名	交通安全施設等整備事業 (歩道・自転車歩行者道等)
担当部課室	土木部 道路課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上			-
II. 安全の確保 (必要性)	当該事業箇所における事故状況	過去の事故(死傷者数)	2.7
		過去の死亡事故	1.7
		過去の事故(事故件数)	1.6
		事故率	4.4
	当該箇所の交通状況	交通量(自動車)	2.2
		交通量(自転車)	16.7
		交通量(歩行者)	21.6
	当該箇所の整備状況	歩道の連続性があるか	1.8
		歩道の幅員	1.2
	当該箇所周辺の状況	人家が連続しているか	0.6
		公共施設が周辺にあるか	2.7
		福祉施設が周辺にあるか	2.6
	当該箇所の重要性	通学路に指定されているか	12.8
III. 環境の保全			-
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	観光地との連携	観光地が周辺にあるか	3.1
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	当該箇所の重要性	バス路線になっているか	12.0
VI. 事業の効率性 (効率性)	効率的な施設整備	歩行者・自動車・延長当たりの建設費	12.3
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.27	県事業
事業名	県代行事業(市町村道路整備)
担当部課室	土木部 道路課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	交通ネットワーク特性	国県道等と連絡して幹線道路網を形成しているか、あるいは緊急時等において国県道の代替え機能を有している	5.1
		空港、鉄道駅、高規格道路IC等の各種公共施設へのアクセス道路となっている	3.1
		市町村間の連絡道路になっている	2.8
		バス路線になっている	1.7
	地域振興の支援	通過交通を市街地から分離する効果がある	2.6
		市町村内において、市街地間あるいは集落間を結ぶ道路である	6.0
		沿線に医療福祉施設、公園運動施設、観光地、保養地、工場、商店街がある	6.7
		事業が市町村総合計画等の地域プロジェクトに繰り込まれている	6.4
II. 安全の確保 (必要性)	安全性の確保	通学路、防災・震災点検箇所、緊急輸送路、事故多発箇所である	4.7
		緊急自動車の走行改善が図られる、あるいは到着時間が短縮される	6.7
III. 環境の保全 (有効性)	—	—	—
IV. 地域経済への貢献 (有効性)	整備効果	時間短縮、交通量の増大、渋滞の解消が図られる	1.6
		歩道の新設、最急勾配、最小曲線半径の改善により、安全性の向上が図られる	1.5
		河川・山地での分断が解消され地域振興が図られる	2.6
	技術的難易度	橋梁、トンネル等難度の高い構造物が含まれる、あるいは大規模土工が含まれる	5.5
	全体事業費	全体事業費規模が大きい(5億円～10億円以上)	3.6
	過疎地域指定要件	過疎地域指定の人口要件(人口減少率、高齢者比率、若者者比率)に複数該当している	8.2
財政力	財政力指数が低い(0.2～0.42以下)	9.0	
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	市町村道改良率	市町村道の改良率が県平均に対して低い	4.2
	関連事業との整合性	高規格道路、河川改修、ほ場整備、区画整理等の他事業と関連して整備を行う	3.0
VI. 事業の効率性 (効率性)	地元の協力体制	地元理解、用地等の協力体制が整っている、また、地元の関係機関との調整が既に整っている	7.8
	計画協議の状況	事前の調査設計が完了し、各種協議や法指定手続きも完了している	3.9
	整備計画(創意工夫の取り組み)	道路整備計画の作成にあたって、住民参加型、リサイクル、コスト削減に積極的に取り組む計画である	3.3
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.28	県事業
事業名	河川事業
担当部課室	土木部 河川課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上			-
II. 安全の確保 (必要性)	洪水により氾濫が 想定される区域の状況	区域内に住宅・農地等の資産がどの程度存在しているか	3.7
		道路、鉄道等の交通網が被害を受ける程度	2.3
		災害時要援護者関連であり、災害時の避難・救護施設となりうる保全すべき公共施設(学校・病院)の施設数	2.5
		災害に対する災害時要援護者である高齢者の割合	1.1
	過去の災害状況	洪水により浸水被害を受けた回数、住宅や農地の面積	9.6
	河川の現況	計画の目標とする流量と現況で流せる流量の比率	3.5
		洪水による被害の程度を左右する、河川の流域面積	1.8
		破堤により被害が甚大となりうる築堤区間になっているか	2.1
	ソフト施策との連携	洪水避難地図(ハザードマップ)の配布など非常時に対する情報提供が行われているか	7.4
	III. 環境の保全 (有効性)	環境の保全	自然環境や動植物の生息に対しどの程度配慮しているか
歴史的資源への配慮		歴史的埋蔵物や建造物などへの対応の状況	4.7
景観		水辺の景観を保全し、創造する配慮がなされているか	4.5
水質汚濁の状況		水質の環境基準に対して汚濁の現状はどうなっているか	3.9
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	地域開発の状況など	河川の周辺は市街化が進んでいるか	3.4
		河川の周辺に地域開発計画があるか	1.6
	資産価値の増大	今後土地の利用について高度化が見込まれるか	3.7
	富県戦略への支援	県内全域への経済効果が見込まれるか	7.6
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	潤いとゆとり	川に関するイベントなどがおこなわれているか	3.9
	親水性への配慮	水辺に親しみやすい配慮がなされているか	5.5
	河川及び周辺の 利用状況	河川が県民にどのような形で利用されているか、また利用者数はどれくらいか。	5.9
VI. 事業の効率性 (効率性)	地域開発の連携	土地改良事業や土地区画整理事業など他の事業と共同して事業が進められているか	7.1
	地元との連携	地域の広域的な拠点づくりなどの市町村計画を支援する事業か	7.7
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点到評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.29	県事業
事業名	海岸事業
担当部課室	土木部 河川課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上			-
II. 安全の確保 (必要性)	高潮、津波や海岸の浸食により被害が想定される区域の現況	区域内の住宅・農地面積などの資産	7.7
		道路、鉄道等の交通網の延長	4.4
		災害時の避難・救護施設となりうる保全すべき公共施設(学校・病院)の施設数	5.0
		災害に対する災害時要援護者である高齢者の割合や施設の数	1.4
	過去の災害状況	高潮、津波などにより浸水被害を受けた回数、住宅や農地の面積	25.4
III. 環境の保全 (有効性)	景観	汀線の変化や周辺の状況など、景観の維持に配慮しているか	18.8
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	レクリエーション	海水浴、つりなどの場として活用の可能性があるか	10.1
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	潤いとゆとり	海岸を利用したイベント、フェスティバルなどが開催されているか	11.6
VI. 事業の効率性 (効率性)	地元との連携	改修区間が当該市町村の行政計画に含まれているか	5.8
	地域開発の連携	環境整備事業などの他事業と共同して事業が進められているか	9.8
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.30	県事業
事業名	ダム事業
担当部課室	土木部 河川課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上			-
II. 安全の確保 (必要性)	洪水により氾濫が想定される 区域の状況	区域内に住宅・農地等の資産がどのくらい存在しているか	4.8
		区域内における道路、鉄道等の交通網の延長	2.6
		災害時要援護者関連であるとともに、災害時の避難・養護施設となりうる公共施設(学校・病院)の数	2.3
		災害に対し災害時要援護者となりやすい高齢者の割合	3.2
	過去の災害状況	過去10年で浸水の被害を受けた回数、住宅数や農地の面積	9.1
	河川の現況	ダムが建設される河川の流域面積	3.3
		計画の目標とする河川流量と現況で流せる河川流量の差	7.0
事業効果	ダムの建設により軽減できる洪水時の河川流量	17.6	
III. 環境の保全 (有効性)	自然環境	保全対策を行った後でもダムの建設によって影響を受ける動植物があるかどうか	7.4
	河川の現況流量	河川の渇水時にダムから補給水を流すかどうか	8.2
IV. 地域経済への 貢献			-
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (必要性) (有効性)	農業(かんがい)用水の確保	ダムの建設により補給される農業用水を使用する農地の面積	3.5
	上水道用水の確保	ダムの建設により新たに補給される上水道用水の水量	6.3
	過去の渇水被害状況	過去10年で渇水による影響を受けた回数、農地の面積や上水道の供給を受ける人口	6.2
	ダム建設により水没する地域の状況	ダムの建設により水没する住宅の戸数、農地の面積	4.0
		ダムの建設に対する反対があるかどうか	1.6
VI. 事業の効率性 (効率性)	関連事業	農業水利事業や上水道施設事業など、ダムの建設と関連する事業があるかどうか	12.9
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点到評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.31	県事業
事業名	砂防事業
担当部課室	土木部 防災砂防課

評価軸	評価項目	評価指標	ウェイト
I. 利便性の向上 (必要性)			—
II. 安全の確保 (必要性)	土石流の発生要因による 危険度の判定	<ul style="list-style-type: none"> ・溪床の勾配はどのくらいか ・土石流の発生が想定される流域面積はどのくらいか ・地質、地盤状況はどうか ・土石流の発生が想定される堆積土の厚さはどのくらいか 	20.0
	被害想定区域内の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保全対象となる人家の戸数 ・保全対象となる災害時要援護者関連施設の戸数(入床者を換算) 	20.0
	近年に発生した災害状況	<ul style="list-style-type: none"> 過去10年間の土石流による被災状況 ・死傷者、負傷者の数 ・家屋の倒壊数等 	40.0
III. 環境の保全 (有効性)			—
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)			—
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	地域における重要施設等の 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・被害想定区域内の避難所の有無 ・被害想定区域内の災害時要援護者施設の有無 ・被害想定区域内の防災拠点の有無 ・孤立化集落発生要因の有無 	10.0
VI. 事業の効率性 (効率性)	地域社会における事業実施 の熟度	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者や関係市町村の要望、協力体制 ・関係機関との調整状況 	10.0
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点到評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.32	県事業
事業名	地すべり対策事業
担当部課室	土木部 防災砂防課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)			—
II. 安全の確保 (必要性)	地すべり徴候	地すべりの兆候があるか	12.0
	地すべりの発生要因による 危険度の判定	・地形状況はどうか ・地質、地盤状況はどうか ・湧水はあるか	4.0
	過去の発生履歴	過去の土石流による被災状況 ・死傷者、負傷者の数 ・家屋の倒壊数等	4.0
	被害想定区域内の状況	・保全対象となる人家の戸数 ・保全対象となる災害時要援護者関連施設の戸数 (入床者を換算)	20.0
	近年に発生した災害状況	過去10年間の地すべりによる被災状況 ・死傷者、負傷者の数 ・家屋の倒壊数等	40.0
III. 環境の保全 (有効性)			—
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)			—
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	地域における重要施設等の 状況	・被害想定区域内の避難所の有無 ・被害想定区域内の災害時要援護者施設の有無 ・被害想定区域内の防災拠点の有無 ・孤立化集落発生要因の有無	10.0
VI. 事業の効率性 (効率性)	地域社会における事業実施 の熟度	・受益者や関係市町村の要望、協力体制 ・関係機関との調整状況	10.0
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる
評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.33	県事業
事業名	急傾斜地崩壊対策事業
担当部課室	土木部 防災砂防課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)			—
II. 安全の確保 (必要性)	斜面崩壊要因による危険度の判定	・斜面の形状、高さはどうか ・地質、地盤状況はどうか ・表層の厚さはどうか ・湧水はあるか	8.0
		・現在の植生の種類と樹齢等はどうか	6.0
		・隣接斜面の崩壊履歴はどうか	4.0
		・隣接斜面の対策工の効果はどうか	2.0
	被害想定区域内の状況	・保全対象となる人家の戸数 ・保全対象となる災害時要援護者関連施設の戸数(入床者を換算)	20.0
	近年に発生した災害状況	過去10年間の斜面崩壊による被災状況 ・死傷者、負傷者の数 ・家屋の倒壊数等	40.0
III. 環境の保全 (有効性)			—
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)			—
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	地域における重要施設等の状況	・被害想定区域内の避難所の有無 ・被害想定区域内の災害時要援護者施設の有無 ・被害想定区域内の防災拠点の有無 ・孤立化集落発生要因の有無	10.0
VI. 事業の効率性 (効率性)	地域における事業実施の熟度	・受益者や関係市町村の要望、協力体制 ・関係機関との調整状況	10.0
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.34	県事業
事業名	港湾事業(岸壁等整備事業)
担当部課室	土木部 港湾課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	入出港時間の短縮	取扱貨物量からみるバース混雑度	8.5
		入港隻数からみるバース混雑度	6.1
II. 安全の確保 (必要性)	震災時の信頼性向上	大規模地震対策施設に該当するかどうか	13.6
III. 環境の保全 (有効性)	周辺海域の水質保全	COD値が環境基準値を満足しているかどうか	6.6
	隣接生態系の保全	保全に配慮する区域があるかどうか	7.6
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	港湾利用効果の増大	対象品目の県内における取扱量の増加率	7.4
		対象品目の対象港湾内における取扱量の増加率	11.8
		対象品目の計画貨物量に対する実績貨物量の割合	5.8
V. 地域社会 (生活環境)の向上	港社会のゆとり	対象産業の県内における生産額の増加率	10.6
		県内全産業の生産額に占める対象産業の生産額の割合	12.1
VI. 事業の効率性 (効率性)	工事の規模	対象岸壁の設計水深とも現地水深の差	9.9
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.35	県事業
事業名	港湾事業(物揚場等整備事業)
担当部課室	土木部 港湾課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	利用のしやすさ	鉄道駅が近隣に存在するかどうか	16.1
II. 安全の確保 (必要性)	震災時の信頼性向上	大規模地震対策施設に該当するかどうか	12.3
III. 環境の保全 (有効性)	周辺海域の水質保全	COD値が環境基準値を満足しているかどうか	6.9
	隣接生態系の保全	保全に配慮する区域があるかどうか	8.4
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	港湾利用効果の増大	旅客輸送用施設に該当するかどうか	14.6
		海洋性レクリエーション施設に該当するかどうか	11.8
V. 地域社会 (生活環境)の向上	港社会のゆとり	周辺に放置艇が何隻あるか	7.6
	港社会の潤い	イベント、レクリエーション施設が近隣にあるかどうか	9.9
VI. 事業の効率性 (効率性)	工事の規模	対象岸壁の設計水深と現地水深の差	4.4
	他事業との関連	他事業と一体的に整備するかどうか	8.0
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.36	県事業
事業名	港湾事業(環境整備事業)
担当部課室	土木部 港湾課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)			—
II. 安全の確保 (必要性)	災害時の避難場所確保	災害時に避難場所となりうる面積	22.7
III. 環境の保全 (有効性)	周辺海域の水質保全	COD値が環境基準値を満足しているかどうか	7.7
	隣接生態系の保全	保全に配慮する区域があるかどうか	8.0
	景観	景観を向上させるかどうか	5.3
IV. 地域経済への 貢献(有効性)	周辺施設との関連	集客施設が近隣にあるかどうか	19.6
V. 地域社会 (生活環境)の向上	施設の必要性	類似施設が近隣にあるかどうか	12.8
		法律・条例などにより必要とされる施設かどうか	9.2
VI. 事業の効率性 (効率性)	他事業との関連	他事業と一体的に整備するかどうか	14.7
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.37	県事業
事業名	港湾事業(海岸事業)
担当部課室	土木部 港湾課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)			—
II. 安全の確保 (必要性)	想定被害区域内の状況	浸水防護人口	19.5
		浸水防護面積	5.2
		道路	6.4
		鉄道	5.7
		公共施設	8.7
III. 環境の保全 (有効性)	隣接生態系の保全	自然生態系の保全	19.2
IV. 地域経済への 貢献(有効性)	レクリエーション	レクリエーションの場としての可能性	13.8
V. 地域社会 (生活環境)の向上			—
VI. 事業の効率性 (効率性)	地域開発の連携 隣接区域との調整	他事業との連携	12.1
		隣接海岸との調整	9.4
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.38	県事業
事業名	港湾事業(臨港道路整備事業)
担当部課室	土木部 港湾課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	時間短縮効果	臨港道路が良くなることにより走行時間が短縮されることによる経済効果	6.2
	走行費用の減少	臨港道路が良くなることにより自動車の燃料費などが改善される経済効果	5.5
	ネットワーク効果	4車線以上の広域幹線道路か	1.4
		この臨港道路の整備により道路網が形成されるか	2.1
		鉄道の駅や高速道路のインターチェンジなどへの連絡道路になるか	2.5
II. 安全の確保 (必要性)	震災時の信頼性向上	既存の大規模地震対策施設に隣接しているか	24.2
III. 環境の保全 (有効性)	大気への影響	大気汚染への影響がどの程度あるか	8.7
	周辺住環境への配慮	沿道への騒音の影響がどの程度あるか	7.6
IV. 地域経済への 貢献(有効性)	港湾利用効果の増大	対象港湾内における取扱量の増加率	15.7
V. 地域社会 (生活環境)の向上	医療・福祉社会の充実	病院・福祉施設などへの連絡道路になるかどうか	2.9
	景観形成への配慮	電柱を地中化して無電柱化を行う臨港道路整備か	1.1
		景観形成への配慮が必要な臨港道路整備か	1.2
	通学路	通学路になるかどうか	2.9
VI. 事業の効率性 (効率性)	効率的な臨港道路整備	臨港道路延長1kmを整備するのに必要な建設費	18.0
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.39	県事業
事業名	港湾事業 (埠頭用地造成整備事業)
担当部課室	土木部 港湾課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	利用のしやすさ	周辺にI. C. か鉄道駅があるか	
II. 安全の確保 (必要性)	震災時の信頼性向上	大規模地震対策施設に該当するかどうか	
III. 環境の保全 (有効性)	周辺海域の水質保全	COD値が環境基準値を満足しているかどうか	
	隣接生態系の保全	保全に配慮する区域があるかどうか	
	企業立地後の環境	最も近い住宅まで何キロか	
IV. 地域経済への 貢献(有効性)	港湾利用効果の増大	想定立地品目の県内における取扱量の増加率	
		想定立地品目の対象港湾内における取扱量の増加率	
		想定立地品目の計画貨物量に対する実績貨物量の割合	
V. 地域社会 (生活環境)の向上	地域産業の活性化	想定立地品目を取り扱っている事業所の生産額の増加率	
		想定立地品目を取り扱っている事業の地域の生産額に占める対象産業の生産額の割合	
VI. 事業の効率性 (効率性)	対象造成地の埋立高	対象造成地の埋立高はいくらか	
	他事業との一体的な整備	他事業と一体的に整備するかどうか	
合 計			

※1 本事業は実施予定箇所が1箇所のため、ウエイトの設定はしていません。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.40	県事業
事業名	街路事業
担当部課室	土木部 都市計画課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上 (必要性)	時間短縮効果	時短便益(道路が良くなることにより走行時間が短縮されることによる経済効果)	10.5
	走行費用の減少	通行する各車両の走行費(道路が良くなることにより自動車の燃料費などが改善される経済効果)	6.5
	ネットワーク効果	4車線以上の広域幹線道路かどうか	3.7
		この道路の整備により道路網が形成されるかどうか	9.2
		鉄道の駅や高速道路のインターチェンジなどへの連絡道路になるかどうか	6.4
II. 安全の確保 (必要性)	都市防災	都市の防災機能を向上させる道路整備かどうか	10.7
III. 環境の保全 (有効性)	大気への影響	大気汚染への影響がどの程度あるか	6.8
	騒音	沿道への騒音の影響がどの程度あるか	4.5
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	産業経済の活性化	この道路の整備以外と連携して行われる他の事業があるかどうか	5.6
		商業や業務活動を支援する道路整備かどうか	6.0
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	医療・福祉社会の充実	病院や福祉施設などへの連絡道路になるかどうか	7.6
	都市景観形成	電線を地中化して無電柱化を行う道路整備かどうか	1.7
		都市の景観形成への配慮が必要な道路整備かどうか	1.9
	通学路	通学路になるかどうか	6.6
VI. 事業の効率性 (効率性)	効率的な道路整備	道路延長1kmを整備するのに必要な建設費	12.3
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点到評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.41	県事業
事業名	広域公園事業
担当部課室	土木部 都市計画課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上			—
II. 安全の確保 (有効性)	災害避難場所	災害時に避難地として活用できる広場面積	20.7
III. 環境の保全 (有効性)	自然環境への配慮	良好な自然環境の保全・活用に貢献するかどうか	15.3
	歴史的資源への配慮	歴史的資源の保全・活用に貢献するかどうか	10.8
IV. 地域経済への 貢献(有効性)	イベントの実施可能性	イベント開催による地域経済への貢献の可能性	12.3
V. 地域社会 (生活環境)の向上	施設の身近度	公園に隣接する市町村の人口	9.7
	単位人口あたりの整備水準	住民一人当たりの公園面積(完成後)	6.9
	特定利用者人口割合	15歳未満と65歳以上の人口割合 (県民の健康増進への貢献の可能性)	4.8
	類似施設の立地状況	競合施設である自然公園や体育施設の整備水準	5.7
VI. 事業の効率性 (効率性)	事業の効率性	公園面積1㎡あたりの整備費	13.9
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点到評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.42	県事業
事業名	土地区画整理事業
担当部課室	土木部 都市計画課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I.利便性の向上 (必要性)	整備効果の広域性	整備効果が広範囲に及ぶ事業かどうか	
	街路整備による効果	走行時間の短縮便益(街路整備により走行時間が短縮されることによる経済効果)	
		走行経費の減少便益(街路整備により自動車の燃料費などが改善される経済効果)	
		地域・都市の骨格となる街路整備かどうか	
II.安全の確保 (必要性)	防災性の向上	都市の防災機能を向上させる事業かどうか	
III.環境の保全 (有効性)			
IV.地域経済への貢献 (有効性)	宅地の利用増進	比例率(保留地を除く施行前後の宅地価額総額の比)	
	地域経済の活性化	中心市街地の活性化が図られる事業かどうか	
		地域産業の振興に寄与する事業かどうか	
V.地域社会(生活環境)の向上 (有効性)	地域コミュニティへの貢献	地域コミュニティの形成が図られる事業かどうか	
VI.事業の効率性 (効率性)	効率的な整備	施行地区1ha当たりの事業費	
合 計			

※1 本事業は実施予定箇所が1箇所のため、ウエイトの設定はしていません。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.43	県事業
事業名	流域下水道事業
担当部課室	土木部 下水道課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上			—
II. 安全の確保 (必要性)	水源地の汚染防止	水道水源地の有無	10.5
	ライフライン機能の維持増進	施設における耐震化の整備状況	15.8
III. 環境の保全 (必要性)	水環境の保全と創造	環境保全計画等の位置付け	2.8
		水質環境基準の達成状況	6.0
		高度処理の導入状況	3.7
	廃棄物対策	下水汚泥減量化施設の整備状況	5.7
		下水汚泥リサイクル率	9.4
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	事業による波及効果	観光地としてのポテンシャルの向上	2.6
		下水処理水の再利用状況	4.9
		高度情報化への対応状況	3.5
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (必要性)	生活環境の改善	下水道処理人口普及率	7.0
		供用開始済み市町村の割合	2.6
	処理場の処理能力	現有処理能力に対する余裕率	6.0
VI. 事業の効率性 (効率性)	他事業との連携	関連市町村の下水道整備状況	4.9
		広域化・共同整備事業の有無	6.5
	単位あたりの効率性	処理区域人口1人当たりの投資額	4.4
		整備済み面積1ha当たりの投資額	3.6
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.①	助成事業
事業名	畜産担い手育成総合整備事業
担当部課室	農林水産部 畜産課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	町づくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	2段階	低い				高い	5
	畜産の振興	3段階	低い		普通		高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	事業参加農家の育成	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	効果の早期発現	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	コスト水準	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	農業経営(事業参加経営体)の緊急強化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	事業の実施期間	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	受益者の熱意	2段階	低い				高い	10
	農業者への支援	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	地域の意向	3段階	低い		普通		高い	10
	牧場用地等の確保状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.②	助成事業
事業名	資源リサイクル畜産環境整備事業
担当部課室	農林水産部 畜産課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	町づくりの支援	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	農業の振興	2段階	低い				高い	5
	畜産の振興（有効性）	3段階	低い		普通		高い	5
	家畜排せつ物適正処理の推進（有効性）	2段階	低い				高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	農業者の支援	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	畜産農家の育成（有効性）	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	効果の早期発現	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	施設建設コスト	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	農業経営の緊急強化	2段階			普通		高い	5
	事業の長期化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	受益者の熱意	2段階	低い				高い	10
	地域の意向	2段階	低い				高い	10
	用地の取得状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.③	助成事業
事業名	県営草地整備事業
担当部課室	農林水産部 畜産課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	町づくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	2段階	低い				高い	5
	畜産の振興	3段階	低い		普通		高い	5
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	公共牧場等利用農家の育成	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	効果の早期発現	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	コスト水準	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	牧場経営の緊急強化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	事業の実施期間	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	受益者の熱意	2段階	低い				高い	10
	農業者への支援	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	地域の意向	3段階	低い		普通		高い	10
	牧場用地等の確保状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. ④	助成事業
事業名	村づくり交付金（総合整備）
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標		評価区分	配点					ウェイト
				1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進		3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援		3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興		3段階	低い		普通		高い	5
	農業生産基盤の均衡ある整備		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	都市との格差是正		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	農村の振興		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	定住化		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	費用対効果		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	1戸当たりの投資額		5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5
緊急性	農業経営の緊急強化	高齢化率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
		耕作放棄地率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
熟度	地域の合意形成		3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度		3段階	低い		普通		高い	5
	計画への住民参加		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	各種協議の進捗		5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計								100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. ⑤	助成事業
事業名	村づくり交付金（農業集落排水単独事業）
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	汚水処理人口普及率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	定住化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	費用対効果	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	1戸当たりの投資額	5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	生活雑排水の流入による農業被害の状況	2段階	低い				高い	5
熟度	地域の合意形成	3段階	低い		普通		高い	15
	計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	5
	条例の制定の有無	3段階	低い		普通		高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No. ⑥	助成事業
事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業
担当部課室	農林水産部 農村整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業の推進	3段階	低い		普通		高い	5
	まちづくりへの支援	3段階	低い		普通		高い	5
	農業の振興	3段階	低い		普通		高い	5
	汚水処理人口普及率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
有効性	農村の振興	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	環境保全への配慮	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	定住化	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
効率性	1戸当たりの投資額	5段階	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	5
	横断的な事業の推進	2段階			普通		高い	5
緊急性	既存施設の老朽化	2段階	低い				高い	15
	生活雑排水の流入による農業被害の状況	2段階	低い				高い	5
熟度	地域の合意形成及び計画の熟度	3段階	低い		普通		高い	15
	条例の制定の有無	3段階	低い		普通		高い	5
	事業推進団体等の有無及び活動状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	各種協議の進捗	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.⑦	助成事業
事業名	森林管理道整備事業
担当部課室	農林水産部 林業振興課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	計画的な事業推進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	森林整備の促進	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	森林施業のコスト低減	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
重要性	山村の振興（有効性）	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	環境保全への配慮	3段階	低い		普通		高い	10
	地域格差の是正（有効性）	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
緊急性	防災上の効果（有効性）	3段階	低い		普通		高い	10
効率性	効果の早期発現	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	20
熟度	受益者の意思	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	事業の進捗状況	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.⑧	助成事業
事業名	森林居住環境整備事業
担当部課室	農林水産部 林業振興課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			点	点	点	点	点	
必要性	計画的な事業推進							
	林業の振興							
	森林の塾度							
	地域格差の是正							
有効性	山村の振興							
	環境保全への配慮							
	防災上の効果							
効率性	効果の早期発現							
塾度	受益者の意志							
	事業の進捗状況							
合 計								

- ※1 本事業は実施予定地区が1箇所であり、評点による優先度比較ができないため、評価区分、配点、ウェイトの設定はしていません。
- ※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. ⑨	助成事業
事業名	地域水産物供給基盤整備事業
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	外郭施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	係留施設整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	漁業依存度	3段階	低い		普通		高い	10
	利用漁船数	3段階	低い		普通		高い	5
	属地水揚げ量	3段階	低い		普通		高い	5
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	5
	環境保全の配慮	2段階	低い				高い	5
	漁業若年齢者率	3段階	低い		普通		高い	10
効率性	一部施設の供用開始の有無	2段階	低い				高い	5
	複合事業の位置付け	2段階	低い				高い	5
	利用漁船1隻当たりの投資額	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	前計画からの残	3段階	低い		普通		高い	10
	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
	地元市町の優先順位	3段階	低い		普通		高い	10
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. ⑩	助成事業
事業名	漁村再生交付金事業
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価 区 分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	防波堤整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
	係船岸整備率	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
有効性	漁業依存度	3段階	低い		普通		高い	10
	利用漁船数	3段階	低い		普通		高い	5
	属地水揚げ量	3段階	低い		普通		高い	5
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	5
	環境保全の配慮	2段階	低い				高い	5
	漁業若年齢者率	3段階	低い		普通		高い	5
効率性	翌年度完成港	2段階	低い				高い	10
	利用漁船1隻当たりの投資額	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	5
緊急性	補修的内容	3段階	低い		普通		高い	5
	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
	前計画からの残	2段階	低い				高い	10
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
	地元市町の優先順位	3段階	低い		普通		高い	10
合 計							100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

NO. ①	助成事業
事業名	海岸保全施設整備事業
担当部課室	農林水産部 水産業基盤整備課

評価項目	評価指標	評価区分	配点					ウェイト
			1点	2点	3点	4点	5点	
必要性	防災計画の位置づけ	2段階	低い				高い	5
有効性	防護人口	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	防護面積	5段階	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	10
	過去の被災歴	3段階	低い		普通		高い	10
	法指定状況	3段階	低い		普通		高い	5
	環境保全の配慮	2段階	低い				高い	5
	公共施設の有無	2段階	低い				高い	10
効率性	レクリエーション利用の可能性	2段階	低い				高い	5
	複合事業の位置づけ	2段階	低い				高い	5
	翌年度完成港	2段階	低い				高い	10
緊急性	関連事業の状況	3段階	低い		普通		高い	5
	既施設の経過年数	3段階	低い		普通		高い	10
熟度	地元の同意状況	2段階	低い				高い	5
	用地買収・補償状況	2段階	低い				高い	5
合 計								100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点を5で割ったものです。

※2 この基準表は、農林水産部用です。

事業箇所評価基準表

No.⑫	助成事業
事業名	河川事業
担当部課室	土木部 河川課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト
I. 利便性の向上			-
II. 安全の確保 (必要性)	洪水により氾濫が 想定される区域の状況	区域内に住宅・農地等の資産がどの程度存在しているか	3.7
		道路、鉄道等の交通網が被害を受ける程度	2.3
		災害時要援護者関連であり、災害時の避難・救護施設となりうる保全すべき公共施設(学校・病院)の施設数	2.5
		災害に対する災害時要援護者である高齢者の割合	1.1
	過去の災害状況	洪水により浸水被害を受けた回数、住宅や農地の面積	9.6
	河川の現況	計画の目標とする流量と現況で流せる流量の比率	3.5
		洪水による被害の程度を左右する、河川の流域面積	1.8
		破堤により被害が甚大となりうる築堤区間になっているか	2.1
	ソフト施策との連携	洪水避難地図(ハザードマップ)の配布など非常時に対する情報提供が行われているか	7.4
	III. 環境の保全 (有効性)	環境の保全	自然環境や動植物の生息に対しどの程度配慮しているか
歴史的資源への配慮		歴史的埋蔵物や建造物などへの対応の状況	4.7
景観		水辺の景観を保全し、創造する配慮がなされているか	4.5
水質汚濁の状況		水質の環境基準に対して汚濁の現状はどうなっているか	3.9
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	地域開発の状況など	河川の周辺は市街化が進んでいるか	3.4
		河川の周辺に地域開発計画があるか	1.6
	資産価値の増大	今後土地の利用について高度化が見込まれるか	3.7
	富県戦略への支援	県内全域への経済効果が見込まれるか	7.6
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	潤いとゆとり	川に関するイベントなどがおこなわれているか	3.9
	親水性への配慮	水辺に親しみやすい配慮がなされているか	5.5
	河川及び周辺の 利用状況	河川が県民にどのような形で利用されているか、また利用者数はどれくらいか。	5.9
VI. 事業の効率性 (効率性)	地域開発の連携	土地改良事業や土地区画整理事業など他の事業と共同して事業が進められているか	7.1
	地元との連携	地域の広域的な拠点づくりなどの市町村計画を支援する事業か	7.7
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.⑬	助成事業
事業名	土地区画整理事業
担当部課室	土木部 空港臨空地域課

評価軸	評価項目	評価指標	ウエイト	
I. 利便性の向上 (必要性)	時間短縮効果	時短便益(道路が良くなることにより走行時間が短縮されることによる経済効果)	10.5	
	走行費用の減少	通行する各車両の走行費(道路が良くなることにより自動車の燃料費などが改善される経済効果)	6.5	
	ネットワーク効果	4車線以上の広域幹線道路かどうか		3.7
		この道路の整備により道路網が形成されるかどうか		9.2
		鉄道の駅や高速道路のインターチェンジなどへの連絡道路になるかどうか		6.4
II. 安全の確保 (必要性)	都市防災	都市の防災機能を向上させる道路整備かどうか	10.7	
III. 環境の保全 (有効性)	大気への影響	大気汚染への影響がどの程度あるか	6.8	
	騒音	沿道への騒音の影響がどの程度あるか	4.5	
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	産業経済の活性化	この道路の整備以外と連携して行われる他の事業があるかどうか	5.6	
		商業や業務活動を支援する道路整備かどうか	6.0	
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	医療・福祉社会の充実	病院や福祉施設などへの連絡道路になるかどうか	7.6	
	都市景観形成	電線を地中化して無電柱化を行う道路整備かどうか	1.7	
		都市の景観形成への配慮が必要な道路整備かどうか	1.9	
	通学路	通学路になるかどうか	6.6	
VI. 事業の効率性 (効率性)	効率的な道路整備	道路延長1kmを整備するのに必要な建設費	12.3	
合 計			100	

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウエイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。

事業箇所評価基準表

No.⑭	助成事業
事業名	市街地再開発事業
担当部課室	土木部 建築宅地課

評価軸	評価項目	評価指標	ウェイト
I. 利便性の向上 (必要性)	アクセス性の向上	整備される駐車場の収用台数はどのくらいか	12.4
II. 安全の確保 (必要性)	既成市街地の安全性の向上	現状の非耐火建築物の棟数の割合はどのくらいか	12.2
		新耐震基準施行以前の建築物の棟数の割合はどのくらいか	11.7
III. 環境の保全			-
IV. 地域経済への 貢献 (有効性)	買い物機会の拡大	商業店舗の床面積はどのくらい増加するか	9.6
	就業機会の拡大	業務施設の床面積はどのくらい増加するか	10.5
V. 地域社会 (生活環境)の向上 (必要性)	新規住宅の供給	住宅の供給戸数はどのくらいか	2.7
	公益施設の整備	公共施設の床面積の割合はどのくらいか	5.4
	快適空間の整備	オープンスペース・緑地・屋上緑化面積の割合はどのくらいか	4.7
	高齢者・身障者等への配慮	高齢者・身障者への配慮がなされているか	6.2
	土地利用の高度化	容積率の増加の割合はどのくらいか	4.3
VI. 事業の効率性 (効率性)	事業の熟度	権利者との合意形成がどのくらい進んでいるか	6.4
		保留床の売却予定先はどのくらい確定しているか	5.4
	関連事業との連携	同時に施工する公共事業等があるか	8.5
合 計			100

※1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点到評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

※2 この基準表は、土木部用です。